

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

# 2024年3月期 第3四半期 連結決算の概要

2024年2月8日

## 連結：増収減益

売上高	48,035百万円(+1,116百万円)
営業利益	77百万円 (△394百万円)

- 売上： 国内は血液透析装置の需要減退もあり微減となるも、海外は需要回復により血液・細胞領域が継続伸長、円安による円貨換算額の増加も加わり増収
- 利益： 国内消耗品を中心に一部価格転嫁を進めるものの、原材料費や電力費の高止まりが続くほか、需要拡大に備えた海外拠点の労務費や、研究開発費の増加もあり減益

## システム別売上高

- 血液・細胞： 需要回復により主力の成分献血用回路や血液バッグが継続伸長
- 輸液・栄養： 注力分野の薬剤調製・投与クローズドシステムが好調に推移するも、医療用手袋や栄養セット、北米向け翼状針の減少で減収

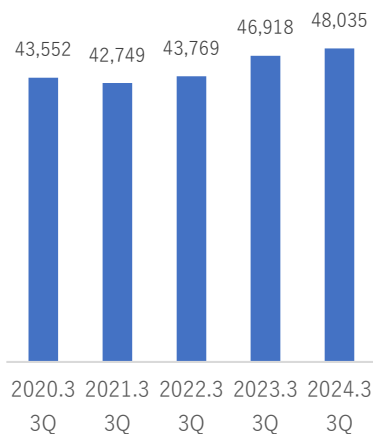
## 地域別売上高

- アジア： 血液バッグのほか、中国で血液透析装置や透析機械室装置が増加
- 日本： 薬剤調製・投与クローズドシステムやニードルレスアクセスポート付輸液セットが増加したものの、血液透析装置の需要減退もあり微減

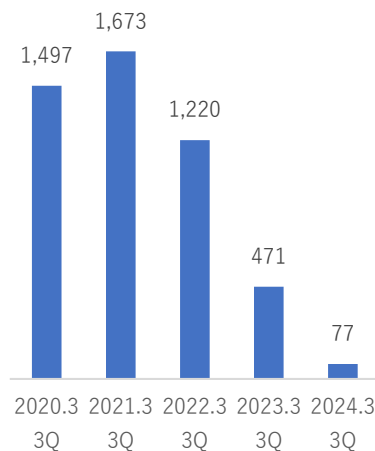
(単位：百万円)

	2023年 3月期 3Q	2024年 3月期 3Q	増減額	増減率
売上高	46,918	48,035	1,116	2.4%
営業利益	471	77	△ 394	△83.6%
経常利益	420	263	△ 156	△37.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	131	54	△ 77	△58.9%

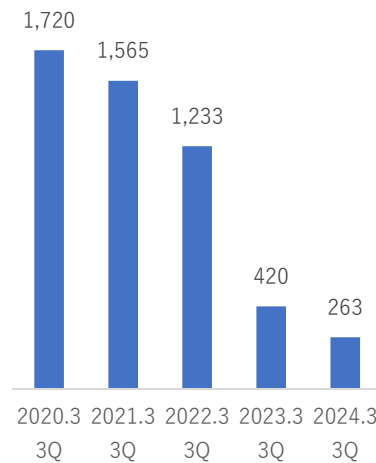
売上高



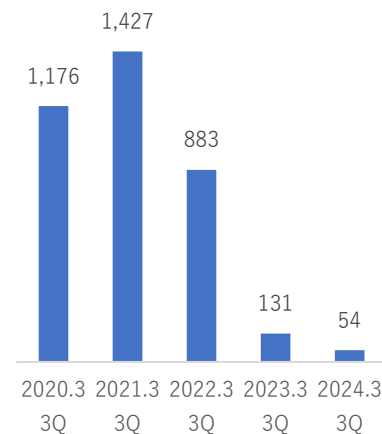
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する  
四半期純利益



# セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

- 日本： 血液透析装置の国内需要減退や、顧客の在庫調整により欧州向けA V F針（血液透析用針）が減少し減収、研究開発費の増加があるも、消耗品を中心に一部価格転嫁を進めるほか、補助金収入や子会社からの受取配当金もあり増益
- シンガポール： 需要回復により成分献血用回路や血液バッグが増加し増収、原材料費や電力費の高騰および需要拡大に備えた労務費の増加のほか、為替変動も利益不利に作用し減益

（単位：百万円）

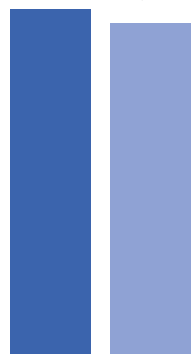
		2023年 3月期 3Q	2024年 3月期 3Q	増減額	増減率
日本	売上高	32,923	32,009	△ 913	△ 2.8%
	利益	137	228	90	66.1%
シンガポール※	売上高	16,810	17,643	832	5.0%
	利益	222	△ 105	△ 328	—
中国	売上高	2,953	2,771	△ 181	△ 6.2%
	利益	94	△ 51	△ 145	—
フィリピン	売上高	2,718	2,903	184	6.8%
	利益	32	△ 154	△ 187	—
ドイツ	売上高	2,817	2,976	158	5.6%
	利益	136	357	220	162.0%
その他※	売上高	4,012	2,927	△ 1,084	△ 27.0%
	利益	42	△ 2	△ 44	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。  
 ※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

## 輸液・栄養領域

18,413 17,684 ■ 2023.3 3Q ■ 2024.3 3Q



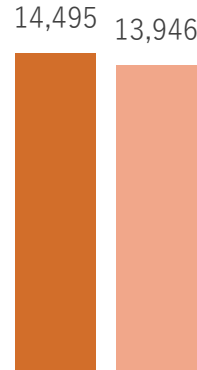
売上高

薬剤調製・投与クローズドシステムやニードルレスアクセスポート付輸液セットが増加したものの、医療用手袋や栄養セットのほか、北米向け翼状針が減少



## 透析領域

14,495 13,946 ■ 2023.3 3Q ■ 2024.3 3Q



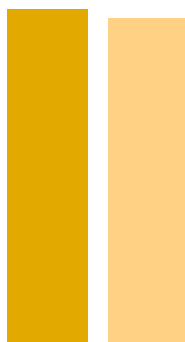
売上高

血液透析装置は国内の減少を中国向けで補填し増加するも、顧客の在庫調整により北米や中国でAVF針が減少



## 外科治療領域

4,256 4,147 ■ 2023.3 3Q ■ 2024.3 3Q



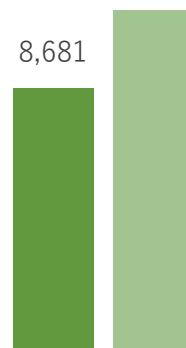
売上高

人工心肺回路が堅調に推移するも、人工心肺装置や中国向け急性血液浄化回路の減少により微減



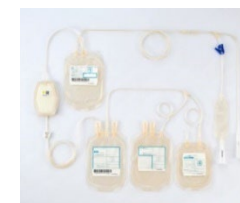
## 血液・細胞領域

11,242 8,681 ■ 2023.3 3Q ■ 2024.3 3Q



売上高

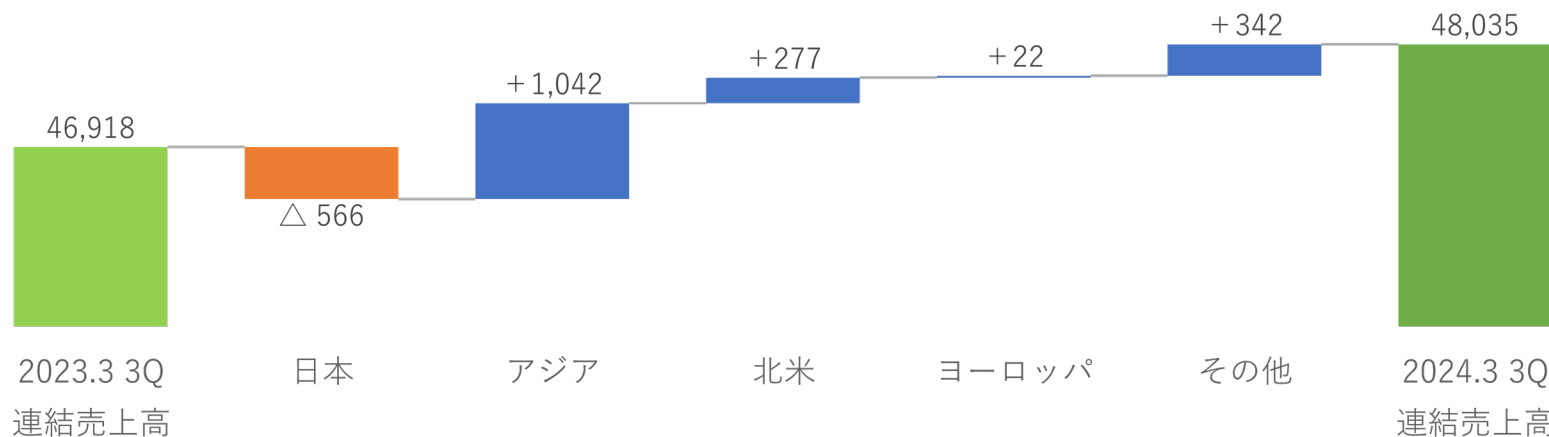
海外需要の回復を受けて成分献血用回路や血液バッグが増加



日本は血液透析装置の需要減退のほか、医療用手袋や栄養セットの減少により減収、海外は顧客の在庫調整により北米や中国でAVF針が減少するも、需要回復に伴う成分献血用回路、血液バッグ、血液透析装置の増加により海外各地域で増収

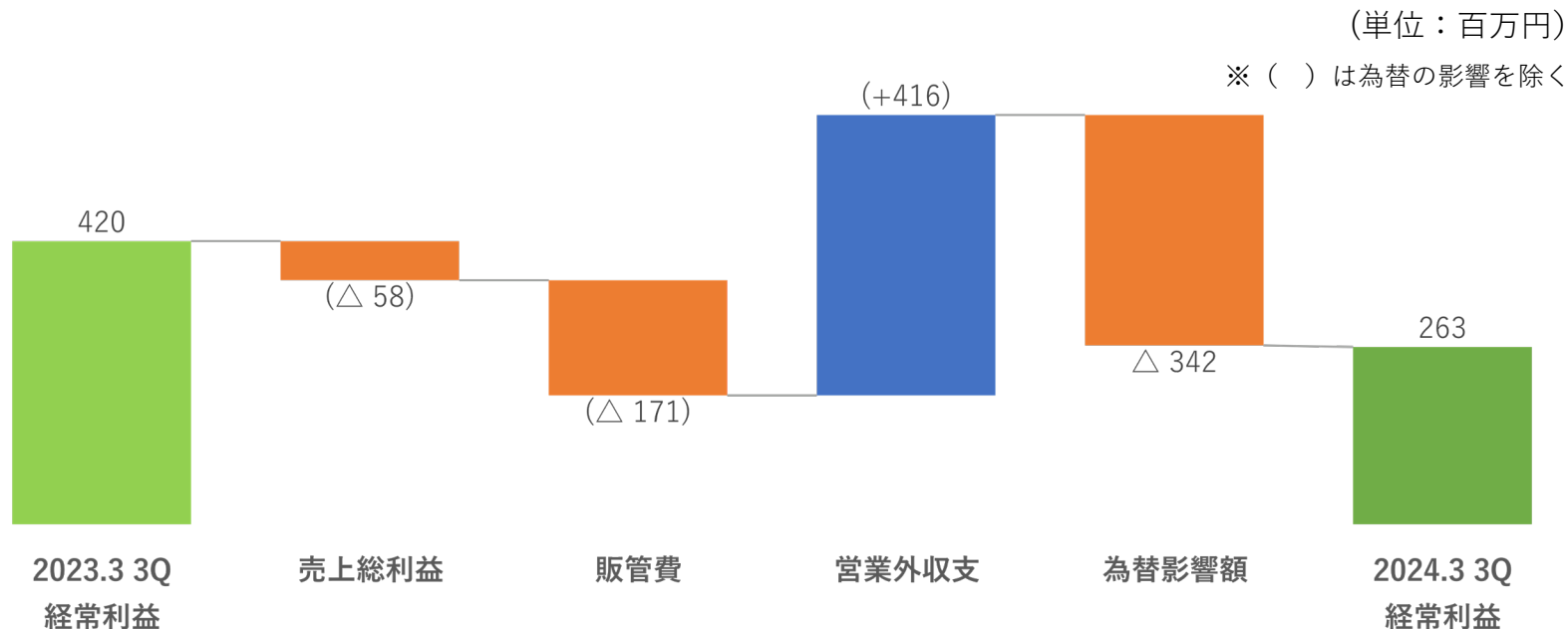
(単位：百万円)

	2023年 3月期 3Q	2024年 3月期 3Q	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	29,036	28,469	△ 566	△ 2.0%	59.3%
アジア	7,245	8,287	1,042	14.4%	17.3%
北米	5,420	5,697	277	5.1%	11.9%
ヨーロッパ	4,310	4,332	22	0.5%	9.0%
その他	906	1,248	342	37.7%	2.6%



# 経常利益増減要因

増収効果に加え、消耗品を中心に一部価格転嫁を進めるものの、原材料費や電力費の高止まりが続くほか、需要拡大に備えた労務費の増加で売上総利益は微減。研究開発費や販売活動費が増加、営業外では持分法による投資利益や補助金収入を計上、為替変動は利益不利に作用



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2023年 3月期 3Q	136.51 円	135.95 円	98.36 円
2024年 3月期 3Q	143.29 円	149.62 円	106.42 円

(単位：百万円)

	2023年 3月期実績	2024年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	63,740	64,500	1.2%
営業利益	724	100	△86.2%
経常利益	586	400	△31.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	281	100	△64.4%

※業績予想にあたっては、前提となる為替レートを、  
1米ドル=145円、1ユーロ=152円、1シンガポールドル=107円としております。

- 売上：** 透析や栄養の領域が低調に推移するも、注力分野の薬剤調製・投与クローズドシステムや需要回復の血液・細胞領域の伸長により増収を見込む
- 利益：** 原材料価格やエネルギー価格の高止まりに加え、需要拡大に備えた労務費の増加や、為替変動も不利に働き、減益を見込む  
引き続き収益改善に向け、原価低減を更に推進、効率的な事業活動による経費低減のほか、物価高騰に伴う価格転嫁を進める



## 2023年12月 腹膜透析領域の拡販に関する協業のお知らせ 在宅透析の普及に向けたシームレスな情報共有の支援

帝人ファーマが展開する多職種連携システム「バイタルリンク」の販売代理店契約を締結しました。高齢化が進む患者さんと働き方改革が求められる医療従事者にとって、より良い腹膜透析療法の環境を実現し、在宅透析の普及促進に貢献します。

※バイタルリンクは、帝人株式会社の登録商標です。



## 2023年12月 子会社等における孫会社の異動完了のお知らせ “ジェイ・エム・エス医療科技（張家港）有限公司”として新たにスタート

譲受した白血球除去フィルター事業と当社の血液バッグ事業を一体的に運営することで、世界の血液関連市場における存在感を高め、事業収益の拡大を目指します。



開所式で挨拶をする代表取締役社長 桂龍司



「ジェイ・エム・エス医療科技（張家港）有限公司」



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。